

第5次鶴ヶ島市総合計画(基本構想)を可決

12月定例会

日	委員会	議題
11/30	本会議	開会 議・議案第2号、諮問第3号、 議案第58～60、62、68号採決 議案第61、63～67、69号委員会付託
12/1	総務常任委員会	付託議案審査
2	産業建設常任委員会	付託議案審査
3	文教厚生常任委員会	付託議案審査
9	本会議	一般質問(4人)
10	本会議	一般質問(4人)
13	本会議	一般質問(3人)
14	本会議	議案第61、63～67、69号採決 閉会

平成22年第4回鶴ヶ島市議会定例会が11月30日から12月14日までの15日間の会期で開催されました。

本定例会では、議員提出議案1件、市長提出議案13件を審議しました。

また、一般質問は3日間にわたり行われ、11人の議員が登壇しました。

市の将来像を示す「基本構想」を可決しました

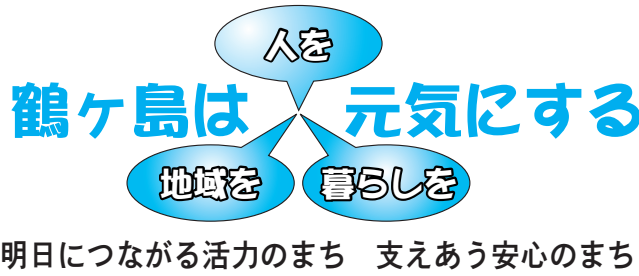
市では、平成23年度からのまちづくりの指針となる「第5次鶴ヶ島市総合計画」の策定を進めていきます。

その中で、12月議会では23年度から32年度までの10年間を計画期間とした「基本構想」を可決しました。

この「基本構想」は、地方自治法に基づき、議会の議決を経て策定するもので、目指すべき市の将来像や、その具現化に向けたまちづくりの方向性を示したものです。

基本構想についての本会議での主な質疑は、次のとおりです。

市の将来像



鶴ヶ島の特性と課題は

Q これからのまちづくりを進める上で、鶴ヶ島の特性と課題は。

A 特性としては、「整備された居住空間と身近な自然が残るまち」、「多彩な人が住む」が財産の「まち」である。課題は、高齢化が急速に進んでいることである。

また、団塊の世代の人たちのマンパワーが地域で発揮でき、共に支え合う仕組みをつくっていくことが必要になると考えている。

鶴ヶ島の将来像は

Q 市の将来像「鶴ヶ島は 元気にする」の具体的な取り組み

について。

A これからは、雇用を確保することが重要であると考えている。まずは、農業大学校移転後の跡地を活用して企業を誘致し、地域に働く場所を確保していきたい。それとともに、このままでは鶴ヶ島の農業が成り立たなくなることが危惧されているため、農業後継者が農業で生活が成り立つような取り組みを進めていきたいと考えている。

また、行政だけでなく市民や団体、企業等が地域の課題に即した形で支え合う仕組みをつくっていきたいと考えている。

社会情勢の変化への対応は

Q 大きな社会情勢の変化などがあつた場合、この総合計画(基本構想)はどうなるのか。

A 政策レベルで変更が必要な場合等については、議会と協議を行いながら柔軟に対応していく必要があると考えている。